

令和4年度

事業報告書

特定非営利活動法人グローイングピープルズウィル

1 事業の成果

コロナの影響を受けながらも、杉並区およびその周辺にお住いの視覚障害者に対して支援の質・量ともに拡大した。

1)．障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

相談員は理事長、常勤、非常勤職員の3名。相談利用者は100名程度。

視覚障害者支援の事業所として杉並区からの信頼が厚く、年々、相談利用者が増加している。利用者に対して公的サービスだけでなくインフォーマルなサービス情報も提供することで、利用者のQOLをあげている。

2)．障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

同行援護事業のみを行っている。利用者は100名程度。ガイドヘルパーは常勤を含めて40名を超えたが、現在も慢性的なガイドヘルパー不足である。

コロナの影響を大きく受けたが、外出を希望する視覚障害者に対してほぼ100%期待に応えた。よって、同業他事業所と比較すると経営的な安定を保ったと考えている。

3)．道路運送法に基づく福祉有償運送事業

今年度も助成金を申請できる最低ラインである500トリップを達成し助成金（約100万円）を受けることができた。同行援護事業を補完する事業として位置付けている。

タクシーアプリを利用できない高齢視覚障害者の足となっている。この事業の認知度は低く、アピールの必要性は高い。現在、運転手は4名。車は4台（うち法人車両2台）。利用者は40名程度。

4)．まちづくり事業

西荻地域区民センター改修計画（杉並区）、阿佐ヶ谷地域区民センター（杉並区）移動円滑化計画を受託した。また、杉並区内で点字ブロックに関するワークショップを開催した。

5)．発展途上国の就学困難児童を支える事業

フィリピンの就学困難児童（1名）の支援は織田基金から捻出した。

6)．視覚障害者の生活を豊かにする事業

- ・高齢視覚障害者のためのストレッチ教室をゆうゆう今川館において月に2回のペースで行っている。参加者8名程度
 - ・板書しないフランス語教室を月に1回開催している。NPO法人エルブから教室提供を受ける。参加者8名程度
 - ・高齢視覚障害者の健康増進のため、音楽療法を取り入れた集いの場を2か月に1回開催した。講師はロービジョンの当事者 参加者10名程度
 - ・視覚障害者の社交ダンスを高円寺障害者交流館で月に2回のペースで行っている。講師は外部から4名。参加者6名
- いずれの事業も新型コロナウイルスの影響を受けているが、可能な限り開催している。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 50,268 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
障害者総合支援法に基づく特定事業	障害者に対して、サービス等利用計画を作成し、福祉サービスを効率よく提供し、障害者の生活を支える。	毎日	杉並区 新宿区 中野区 練馬区 小金井市	3名	実施地域 在住者 視覚障害者	約100名	8,933
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	杉並区、その周辺にお住いの視覚障害者に対してガイドヘルパーを派遣する。	毎日	杉並区及びその周辺自治体	40名	実施地域 在住者 視覚障害者	約100名	36,635
道路運送法に基づく福祉有償運送事業	平成31年5月から事業開始。視覚障害者の足として活動している。	随時	杉並区内 発着	4名	実施地域 在住者 視覚障害者	約40名	2,827
まちづくり事業	自治体から移動制約者に配慮した設計を請け負っている。	毎日	杉並区	1名	—	—	1,854
視覚障害者の生活に豊かにする事業	視覚に障害があっても楽しめるイベントを定期的に開催し、孤立しがちな視覚障害者(特に高齢視覚障害者)の地域生活を後方から支える。	第1.3火曜日 第2土曜日 第1.3木曜日	ゆうゆう今川館 NPO法人エルブ天沼集会室	2名	実施地域 在住者 視覚障害者	約50名	8
発展途上国の就学困難児童を支える事業	1名のフィリピン児童を1年間支援している。	随時	フィリピン NPO法人アクション	1名	フィリピン児童	1名	11

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)